

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

鶴岡市長 皆川 治

市町村名 (市町村コード)	鶴岡市 (06203)
地域名 (地域内農業集落名)	宝谷地区 (宝谷集落 梳代字研沢の農地を含む)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年3月14日 (第2回)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・そばを約34ha作付けしており、宝谷そば屋での提供や加工品販売など6次産業化の取組みが進んでいるが、耕作者である農事組合法人宝谷において労働力不足が生じている。
・中山間直接支払交付金及び多面的機能支払交付金を活用した共同活動により、荒廃農地の発生を防ぐ努力が行われている。また、中山間直接支払交付金を活用した共同利用機械の導入により、生産コストの低減が図られている。
・後継者不在の農業者の農地面積が、35haと多くなっており、農地の受け手の確保が課題となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・水稻とそばを主要作物としつつ、新たな高収益作物(アスパラ・ニラ・花卉等)の導入について、令和8年度までに産地化に向けた栽培計画を策定する。
・梳代字研沢の農地において畑地化促進事業に取り組み、令和6年度までにそば団地を形成する。
・令和5年度から実施する基盤整備事業により大区画化と集約化を図り、農業生産の効率化を図る。
・若い農業者の育成と農事組合法人宝谷の働き手の確保を進める必要がある。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	93.81 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	92.42 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	1.39 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、車両の往来が困難な農地については保全・管理を行う区域とする。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
基盤整備事業により集積・集約化を図る。また、梳代字研沢はそば団地とする。 その他のエリアにおいては、担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地利用最適化推進委員と調整し、農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地バンクへの貸し付けを原則とし、担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集積・集約化する。その際農地利用最適化推進委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組方針
経営体育成基盤整備事業(令和5年度～)により24.1haの基盤整備を実施する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
集落内の若手農業者の育成と農事組合法人宝谷の労働力確保を基本としながら、地域内外からも多様な経営体を募り担い手として育成していくため、市及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。 また、個人農家の農事組合法人宝谷への統合も視野に入れながら、効率的な経営体の育成と労働力の確保に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
防除作業については、引き続き東部ヘリ防除組合への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①電気柵の設置と花火等による追い払いを継続しながら被害の軽減を図り、被害の増加が顕著になった場合は、地域による鳥獣被害対策(集落点検、追い払い体制の構築、電気柵の共同設置、被害の少ない作物選定等)に取り組む。
- ③基盤整備事業の対象農地におけるドローンやロボット農機の導入について検討する。
- ⑧⑨そばの低温貯蔵庫の整備および製粉機の導入等により、宝谷産「でわ宝」の供給体制を強化し、玄そばと加工品の販路拡大を図る。
- ⑨良食味栽培に適した自然条件を生かし、宝谷産米のブランド化を図る。